

No.	意見の概要	本市の考え方
1	<p>事業内容は大変良いと思う。県外からの移住者数の増加を希望する。この問題は全国的に解決すべき事業として取り組まれているが、移住者の皆さんが安心して生活できるよう、仕事等を準備してあげる事が必要だと思う。</p>	<p>このプロジェクトの実施により、自然と人の生活が調和した本市の良さを多くの方々にご認識いただき、移住促進を図っていく考えであります。あわせて、企業誘致や地元企業の成長拡大などへの支援をさらに強化し、移住者の方々にとっても雇用の場が増えるよう、産業政策にもさらに力を入れてまいります。</p>
2	<p>事業費に対する令和7年度末の4つの目標値がすべてにおいて低く感じた。2.5億も予算を取るのであれば、もう少し目標を高く設定してもよいのではないか。3年後、移住者・新規就農者が増え、鳥獣被害が減ることを祈る。</p>	<p>今回の4つの目標値は、国に提出した3か年の実施計画におけるKPI（重要業績評価指標）を基に記載したのですが、この目標値をあくまでも最低ラインとして、これを超える成果を達成するよう頑張っております。その中で、まずは3か年の取組みにより、一次産業の大きな阻害要因となっている有害鳥獣被害への対策をはじめ、担い手の確保、関係人口の創出等について着実に成果を出した上で、4年目以降、さらなる地域産業の振興や移住推進に取り組む、地方創生を実現していきたいと考えています。</p>
3	<p>今の世界情勢から見ると、私は「里山塾」に応募したい。市内には休耕田が多く、もったいない。これらに綿を植えて、田畑を活性化すると同時に、生活にも綿を使い、布団や座布団、クッション等をつくると良いし、綿を糸にしてタオルや洋服等にも使用できる。また、綿はイノシシ等も食べないことがわかっている。綿は利用価値も多く、育てやすい。現在私は、「コットンロードプロジェクト」を興して、小中学校で綿を植えて収穫する活動等を行っており、3年目になる。また旭化成の「コットン・恒富OB協力隊」もできて、合同で西洋綿の種から育てており、「花物語」において無料で綿の種を配布している。延岡市で「里山塾」を興されたので、旭化成の西洋綿の種を、市内、県内、日本中、世界へと広めていくことも視野に入れて、ぜひ綿を植えることにチャレンジをしたい。</p>	<p>本事業においては、自然や動物と人間の営みの調和に着目した「里山塾」を核として、様々な農業体験や鳥獣被害軽減につながる講習等を実施し、持続可能な里地・里山づくりに取り組んでいきたいと考えています。また「里山塾」により鳥獣被害の抑止に貢献する人材も育成していきたいと考えている上、耕作放棄地対策の観点も含めて、脱炭素型ロボットを活用した稲作支援や、それに伴う新規就農者の移住推進に取り組んでいくこととしています。市内にお住まいの方々も含め、ぜひ多くの皆様にご参加いただきたいと思いますし、ご提案の綿の利活用についても関係者と協議してみたいと思います。</p>
4	<p>大変結構なことだと思う。里山・鳥獣害対策とのことだが、他の業種についてこのような事業はないのか。移住・定住に関して、移住してこられた方を3世帯ほど存じているが、その方々に対して行政は一定のフォローをしているのだろうか。住み始めて「あの人、誰？」というケースがある。各区長さん、民生委員のみなさん等を通じて、もう少し地域に溶け込める環境づくりも大切ではないだろうか。</p>	<p>移住される方々に対しましては、移住後の生活の安定の観点からも、仕事や住まい、生活環境等に関する支援を行うべく、様々な相談対応はもとより、移住支援金や子育て世帯の家賃補助、住宅購入補助などに取り組んでいます。移住後の生活に対しましても、個別に相談対応等を行っているところであり、今後もきめ細かな支援を行ってまいります。</p>